

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	1		
授業科目	エンジン構造学 I		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1単位		
授業回数	27回		
授業概要	エンジンの構造を学ぶ		
授業の進め方	エンジンの構造、機能を理解する		
達成目標	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	総論① 内燃機関の分類 4サイクルガソリンエンジン概要	
	3・4	エンジン本体① シリンダ・シリンダブロック	
	5・6	エンジン本体② シリンダヘッド・燃焼室(ノッキング)	
	7・8	エンジン本体③ シリンダヘッドガスケット・ピストン・ピストンピン	
	9・10	エンジン本体④ ピストンリング・コンロッド	
	11・12	エンジン本体⑤ クランクシャフト・バルブタイミング4気筒	
	13・14	エンジン本体⑥ バルブタイミング6気筒以上	
	15・16	エンジン本体⑥ バルブタイミングまとめ	
	17・18	エンジン本体⑦ フライホイール・トーショナルダンパ・エンジンベアリング	
	19・20	エンジン本体⑧ バルブ機構・バルブスプリング	
	21・22	潤滑装置	
	23・24	まとめ①	
	25・26	まとめ②	
	27	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	2		
授業科目	エンジン構造学Ⅱ		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	1年次		
開講区分	後期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1単位		
授業回数	27回		
授業概要	エンジンの構造を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	エンジンの構造、機能を理解する		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	冷却装置①ラジエータ・ウォーターポンプ	
	3・4	冷却装置②サーモスタット・ファン	
	5・6	燃料装置 フューエルタンク・ポンプ・フィルター・Cキャニスタ・空燃比	
	7・8	吸排気装置 排気ガス浄化装置	
	9・10	2輪エンジン	
	11・12	電子制御燃料噴射装置① 概要・OBD・DTC	
	13・14	電子制御燃料噴射装置② 燃料ポンプ・インジェクタ	
	15・16	電子制御燃料噴射装置③ 吸気系統・アイドル制御 ISCV	
	17・18	電子制御燃料噴射装置③ 吸入空気量センサ(バキューム・ブースト)	
	19・20	電子制御燃料噴射装置④・スロットルポジション・アクセルポジションセンサ	
	21・22	電子制御燃料噴射装置⑤ 回転センサ ピックアップ 磁気抵抗素子	
	23・24	電子制御燃料噴射装置⑥温度センサ・排気ガスセンサ ノックセンサ	
	25・26	まとめ	
	27	定例試験	
	成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	3		
授業科目	シャシ構造学A I		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1単位		
授業回数	27回		
授業概要	シャシの構造を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	シャシの構造、機能を理解する		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	動力伝達装置① 概要 駆動方式 クラッチ	
	3・4	動力伝達装置② クラッチ本体	
	5・6	動力伝達装置③ クラッチ操作機構（油圧式）レリーズベアリング	
	7・8	動力伝達装置④ クラッチ故障原因 まとめ	
	9・10	動力伝達装置⑤ トランスミッション（変速比の計算）	
	11・12	動力伝達装置⑥ マニュアルトランスミッション動力伝達経路	
	13・14	動力伝達装置⑦ シンクロメッシュ機構（イナーシャ・ロック・キー式）	
	15・16	動力伝達装置⑧ 操作機構（インタロック機構、ギア抜け防止機構）	
	17・18	動力伝達装置⑨ プロペラシャフト ユニバーサルジョイント	
	19・20	動力伝達装置⑩ ファイナル・ギヤ、ディファレンシャル①	
	21・22	動力伝達装置⑪ ディファレンシャル計算 LSD F F ミッション	
	23・24	動力伝達装置⑫ ドライブシャフト アクスルシャフト	
	25・26	まとめ	
	27	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	4		
授業科目	シャシ構造学AⅡ		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	1年次		
開講区分	後期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1単位		
授業回数	27回		
授業概要	シャシの構造を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	シャシの構造、機能を理解する		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	アクスル及びサスペンション① 概要、構造機能 ロール・ピッチング	
	3・4	アクスル及びサスペンション② シャシスプリング	
	5・6	アクスル及びサスペンション③ ショックアブソーバ・スタビライザ	
	7・8	アクスル及びサスペンション④ 車軸懸架式	
	9・10	アクスル及びサスペンション⑤ 独立懸架式	
	11・12	ホイールアライメント① 概要、構造・機能、キャンバ	
	13・14	ホイールアライメント② キャスタ、キング・ピン	
	15・16	ホイールアライメント③ トー タイヤの偏摩耗	
	17・18	ホイールアライメント④ 四輪アライメント サイドスリップ	
	19・20	サスペンションの機能 ボディーの振動揺動	
	21・22	エアサスペンション① 構成 フロント・リヤサスペンション	
	23・24	エアサスペンション② エアコンプレサ	
	25・26	エアサスペンション③ 制御式サスペンション	
	27	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	5		
授業科目	シャシ構造学B I		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1単位		
授業回数	27回		
授業概要	シャシの構造を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	シャシの構造、機能を理解する		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	ブレーキ装置① 概要、フットブレーキ、ブレーキペダル	
	3・4	ブレーキ装置② ディスクブレーキ	
	5・6	ブレーキ装置③ ドラムブレーキ① 作動 種類	
	7・8	ブレーキ装置④ ドラムブレーキ②、ブレーキドラム、ホイールシリンダ	
	9・10	ブレーキ装置⑤ マスタシリンダ、ブレーキパイプ、ブレーキホース	
	11・12	ブレーキ装置⑥ Pバルブ・LSPV	
	13・14	ブレーキ装置⑦ 制動倍力装置①	
	15・16	ブレーキ装置⑧ パーキングブレーキ	
	17・18	ステアリング装置① 概要	
	19・20	ステアリング装置② ステアリングギヤ機構①	
	21・22	ステアリング装置③ ステアリングギヤ機構② ステアリングギヤ比	
	23・24	まとめ①	
	25・26	まとめ②	
	27	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	6		
授業科目	シャシ構造学BⅡ		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	1年次		
開講区分	後期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1単位		
授業回数	27回		
授業概要	シャシの構造を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	シャシの構造、機能を理解する		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	ホイールタイヤ① ホイール タイヤ①	
	3・4	ホイールタイヤ② タイヤ	
	5・6	2輪 概要 動力伝達 クラッチ	
	7・8	2輪 動力伝達 ミッション チェーン	
	9・10	2輪 動力伝達 サスペンション・ステアリング ホイールアライメント	
	11・12	ブレーキ概要 エア油圧ブレーキ①構造	
	13・14	エア油圧ブレーキ② ブレーキバルブ	
	15・16	エア油圧ブレーキ③ 制動倍力装置	
	17・18	フルエアブレーキ	
	19・20	ABS① 概要	
	21・22	ABS② 作動	
	23・24	TCS 概要	
	25・26	その他ブレーキ 電子制御ブレーキ（EBS） 排気ブレーキ	
	27	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	7		
授業科目	電装品構造学 I		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1 単位		
授業回数	27 回		
授業概要	電装品の構造を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	電装品の構造、機能を理解する		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	電気の基礎① 電気回路について、電圧、電流、抵抗 性質	
	3・4	電気の基礎② 回路計算 直列回路の合成抵抗、電流、電圧降	
	5・6	電気の基礎③ 回路計算 並列回路の合成抵抗、電流、電圧降下	
	7・8	電気の基礎④ 回路計算 スイッチ回路、電圧特性	
	9・10	電気の基礎⑤ 回路計算 直並列回路の合成抵抗、電流、電圧降下	
	11・12	電気の基礎⑥ 回路計算 まとめ	
	13・14	半導体	
	15・16	ヒューズ リレー回路 配線許容電流	
	17・18	磁気の基礎① 磁気、磁界及び磁力線、磁束と磁束密度、電流による磁界	
	19・20	バッテリー① 概要、構造、形式、電解液	
	21・22	バッテリー② 起電力、放電、容量	
	23・24	バッテリー③ 始動性能、比重、凍結温度、内部抵抗	
	25・26	まとめ	
	27	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	8		
授業科目	電装品構造学Ⅱ		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	1年次		
開講区分	後期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1単位		
授業回数	27回		
授業概要	電装品の構造を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	電装品の構造、機能を理解する		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	始動装置（スタータ）① 概要 構造 構造	
	3・4	始動装置（スタータ）② モータ原理、出力特性	
	5・6	始動装置（スタータ）③ 動力伝達、マグネット・スイッチ	
	7・8	始動装置（スタータ）④ 作動	
	9・10	スタータ まとめ	
	11・12	充電装置① 構造・機能	
	13・14	充電装置② 交流の発生、三相交流、整流	
	15・16	充電装置③ 中性点ダイオード付きオルタネータ、ボルテージ・レギュレータ	
	17・18	充電装置④ ボルテージ・レギュレータ制御作用、バッテリー・センサ、点検	
	19・20	点火装置① 概要 構造・機能、点火の基礎	
	21・22	点火装置② 気筒別独立点火方式、イグニッション・コイル	
	23・24	点火装置③ スパーク・プラグ（熱価、着火性能等）	
	25・26	まとめ	
	27	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	9		
授業科目	自動車工学 I		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義及び演習		
単位数	1 単位		
授業回数	3 1 回		
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	自動車に関する工学を理解できるようになる		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	SI単位・接頭語	
	3・4	化学（元素記号）・物理の基礎	
	5・6	力・トルクの計算/圧力の計算	
	7・8	速度・加速度・回転数・単位の換算	
	9・10	ネジの用途と種類・ベアリングの種類	
	11・12	測定（スケール・ノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージ・シックネスゲージ）	
	13・14	製図 基礎知識と三面図（第三角法）・断面図・透視図	
	15・16	排気量、圧縮比の計算 平均ピストンスピードの計算	
	17・18	ギヤ比の計算	
	19・20	ファイナルギヤ・速度・駆動力の計算	
	21・22	ベルトの計算	
	23・24	バルブリフトの計算	
	25・26	油圧の計算 プレーキ関係含む	
	27・28	まとめ①	
	29・30	まとめ②	
	31	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	10	
授業科目	基本作業実習 I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	工具の取り扱いと締め付け方法、測定技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	正しく工具を使用できるようになる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	概要・工具取り扱い
	7～12	締め付けトルクについて
	13～18	研削道具の使用法
	19～24	スタットボルト等
	25～30	トラブル解消法
	31～36	まとめ①
	37～42	測定基礎①
	43～48	測定基礎②
	49～54	測定基礎③
	55～60	まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	11	
授業科目	基本作業実習Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	自動車の基本的な取り扱い、整備技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の基本的な取り扱い、整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	概要・車両名称・車両取り扱いについて
	7～12	リフト取り扱い・使用前点検
	13～18	タイヤ取り外し
	19～24	ガレージジャッキについて・使用前点検
	25～30	ジャッキアップ作業
	31～36	KYT講習
	37～42	日常点検①
	43～48	日常点検②
	49～54	まとめ①
	55～60	まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	12	
授業科目	基本作業実習Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	テストの組み立てと電気の測定方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	基礎的な電気の測定技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	概要・配線・はんだ作業
	7～12	アナログサーキットテスト作成
	13～18	電気の流れ測定方法・回路構成部品について
	19～24	電圧の計算・測定
	25～30	電流の計算・測定
	31～36	抵抗の計算・測定
	37～42	測定復習
	43～48	バッテリー①
	49～54	バッテリー②
	55～60	バッテリーまとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	13	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	エンジンに関する整備と測定を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの整備、測定技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	概要・エンジン取り外し
	7～12	エンジン分解
	13～18	エンジンの仕組み①
	19～24	エンジンの仕組み②
	25～30	測定
	31～36	エンジン組み付け①
	37～42	エンジン組み付け②・車両搭載
	43～48	各種調整
	49～54	試運転
	55～60	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	14	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A II	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	制動装置を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	制動装置が整備できるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	制動装置① 概要
	7～12	制動装置② マスタシリンダ分解・点検
	13～18	制動装置③ マスタシリンダ点検・組み付け
	19～24	制動装置④ ディスクブレーキ分解・点検・組み付け
	25～30	制動装置⑤ ドラムブレーキ分解・点検・組み付け
	31～36	制動装置⑥ ブレーキ液取り換え・エア抜き作業
	37～42	制動装置⑦ 真空制動倍力装置
	43～48	パーキングブレーキ
	49～54	まとめ①
	55～60	まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	15	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A III	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	自動車電気装置の整備について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	始動装置① 概要
	7～12	始動装置② 取り外し・分解
	13～18	始動装置③ 点検・組み付け・取り付け
	19～24	充電装置① 概要
	25～30	充電装置② 取り外し・分解
	31～36	充電装置③ 点検・組み付け・取り付け
	37～42	点火装置① 概要
	43～48	点火装置② 取り外し・点検・組み付け
	49～54	まとめ①
	55～60	まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	16		
授業科目	基礎自動車整備作業実習 B I		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	1年次		
開講区分	後期		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
単位数	2単位		
授業回数	60回		
授業概要	エンジンの分解組み付けを行いエンジンに関する整備方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習		
達成目標	エンジンに関する整備技術を身に付ける		
教科書	配布プリント・資料		
特記			
授業計画	1～6	概要・エンジン分解準備	
	7～12	エンジン分解①	
	13～18	エンジン分解②	
	19～24	測定作業	
	25～30	エンジンメンテナンス	
	31～36	エンジン組み付け①	
	37～42	エンジン組み付け②	
	43～48	試運転	
	49～54	まとめ①	
	55～60	まとめ②	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	17		
授業科目	基礎自動車整備作業実習BⅡ		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	1年次		
開講区分	後期		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
単位数	2単位		
授業回数	60回		
授業概要	自動車のシャシに関する整備を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習		
達成目標	シャシに関する整備技術を身に付ける		
教科書	配布プリント・資料		
特記			
授業計画	1～6	動力伝達装置① 概要	
	7～12	動力伝達装置② トランスミッション取り外し	
	13～18	動力伝達装置③ クラッチ・トランスミッション取り付け	
	19～24	動力伝達装置④ マニュアルトランスミッション①	
	25～30	動力伝達装置⑤ マニュアルトランスミッション②	
	31～36	動力伝達装置⑥ ディファレンシャル①	
	37～42	動力伝達装置⑦ ディファレンシャル②	
	43～48	動力伝達装置⑧ プロペラシャフト	
	49～54	動力伝達装置⑨ ドライブシャフト	
	55～60	まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	19	
授業科目	基礎自動車整備作業実習BIV	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	法令点検を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	法令点検を的確に実施できるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	12カ月点検① 概要・日常点検
	7～12	12カ月点検② エンジンルーム
	13～18	12カ月点検③ 足回り・下回り
	19～24	12カ月点検④ 制動装置・舵取り装置
	25～30	12カ月点検⑤ 灯火類・記録簿
	31～36	12カ月点検演習①
	37～42	12カ月点検演習②
	43～48	12カ月点検演習③
	49～54	12カ月点検演習④
	55～60	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	20	
授業科目	基礎自動車整備作業実習B V	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	自動車のシャシに関する整備を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	シャシに関する整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	舵取り装置① 概要
	7～12	舵取り装置② ステアリングギヤボックス分解
	13～18	舵取り装置③ ステアリングギヤボックス組み付け
	19～24	緩衝装置① サスペンション取り外し
	25～30	緩衝装置② サスペンション分解
	31～36	緩衝装置③ サスペンション組み付け
	37～42	ホイールアライメント①
	43～48	ホイールアライメント②
	49～54	ホイールアライメント③
	55～60	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	21	
授業科目	基礎自動車整備作業実習BVI	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	自動車の電気回路について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の電気回路を理解し、測定技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	エンジン電子制御① 概要
	7～12	エンジン電子制御② センサ①
	13～18	エンジン電子制御③ センサ②
	19～24	エンジン電子制御④ アクチュエータ①
	25～30	エンジン電子制御⑤ アクチュエータ②
	31～36	エンジン電子制御⑥ 故障診断①
	37～42	エンジン電子制御⑦ 故障診断②
	43～48	エンジン電子制御⑧ 故障診断③
	49～54	まとめ①
	55～60	まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	22	
授業科目	エンジン整備法A	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	21回	
授業概要	エンジンの整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンの整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1・2	電子制御装置 復習
	3・4	燃料噴射制御①噴射制御 基本噴射時間
	5・6	燃料噴射制御②噴射制御 各種補正時間
	7・8	燃料噴射制御③噴射制御 非同期噴射
	9・10	燃料噴射制御④電子制御スロットルバルブ
	11・12	燃料噴射制御⑤イグニッションコイル
	13・14	燃料噴射制御⑦点火時期制御
	15・16	燃料噴射制御⑧通電時間制御
	17・18	燃料噴射制御まとめ
	19・20	熱効率、平均有効圧力、諸損失 体積効率、充填効率、燃焼過程
	21	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	23	
授業科目	エンジン整備法B	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	21回	
授業概要	エンジンの整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジン整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1・2	総論 燃焼過程 吸気過剰率 ジーゼルノック 排気ガス
	3・4	エンジン本体① シリンダ、シリンダヘッド ピストン
	5・6	エンジン本体② ピストンリング・バルブタイミング・潤滑装置
	7・8	バルブ機構・バルブクリアランス自動調整機構（タイベルも）
	9・10	燃料装置① 機械式ポンプ概要 予熱装置
	11・12	燃料装置② コモンレール 概要 サプライポンプ フィードポンプ
	13・14	燃料装置③ コモンレール 吐出量制御バルブ 吸入量制御バルブ
	15・16	燃料装置④ コモンレール コモンレール インジェクタ ECU
	17・18	排気ガス後処理装置 DPF 尿素SCR 排気装置
	19・20	まとめ
	21	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	24	
授業科目	シャシ整備法A	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	21回	
授業概要	シャシの整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1・2	動力伝達装置⑬ AT①（トルクコンバータ）
	3・4	動力伝達装置⑭ AT②（変速機構）
	5・6	動力伝達装置⑮ AT③（変速の仕組み、各センサ）
	7・8	動力伝達装置⑯ AT④（ECUによる制御、油圧制御機構、バルブボデー）
	9・10	動力伝達装置⑰ AT⑤（変速点キックダウン、1速作動例）
	11・12	動力伝達装置⑱ AT⑥（2速作動例、3速作動例、4速作動例 リバース作動例）
	13・14	動力伝達装置⑲ AT⑦（Nレンジ、Pレンジ、ロックアップ機構 安全装置）
	15・16	動力伝達装置⑳ まとめ
	17・18	動力伝達装置㉑ CVT
	19・20	動力伝達装置㉒ インタアクスルデフェレンシャル
	21	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	25		
授業科目	シャシ整備法B		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1単位		
授業回数	21回		
授業概要	シャシの整備方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	シャシの整備方法を理解する		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	パワーステアリング装置① コーナリングフォースの発生	
	3・4	パワーステアリング装置② 種類 油圧式	
	5・6	パワーステアリング装置① 電動式	
	7・8	タイヤの特性①たわみ バランス	
	9・10	タイヤの特性②走行音偏平率 車体への取り付け	
	11・12	フレームボディ	
	13・14	2輪車 フレーム サスペンション	
	15・16	3輪車 ブレーキ ABS	
	17・18	補助ブレーキ リターダ	
	19・20	まとめ	
	21	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	26		
授業科目	電装品整備法		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1単位		
授業回数	21回		
授業概要	電装品の整備方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	電装品の整備方法を理解する		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	半導体 整流回路 スイッチング回路 論理回路	
	3・4	電気装置の配線 (CAN) ① CAN 概要 構造 機能	
	5・6	電気装置の配線 (CAN) ② 通信方法	
	7・8	シャシ電気装置 メーター ステップモータ	
	9・10	安全装置① SRSエアバック概要、構造・機能	
	11・12	安全装置② SRSエアバック作動、シートベルト機能	
	13・14	ハイブリッド自動車及び電気自動車①	
	15・16	ハイブリッド自動車及び電気自動車②	
	17・18	先進安全装置	
	19・20	まとめ	
	21	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	27	
授業科目	自動車工学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	21回	
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する工学を理解し、計算できるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1・2	軸重の計算①乗用車・トラック（ガソリン分野別工学）
	3・4	軸重の計算②乗用車・トラック（ガソリン分野別工学）
	5・6	軸重の計算③レッカー（ディーゼル分野別工学）
	7・8	自動車の性能（走行抵抗と駆動力）
	9・10	走行性能曲線図 出力・仕事率
	11・12	分野別問題集 工学 1年次履修部分 ネジ・ギヤ・ギヤ比・駆動力・速度
	13・14	分野別問題集 工学 2年次履修部分 + 油圧・バルブリフト
	15・16	演習 1
	17・18	演習 2
	19・20	演習 3
	21	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	28	
授業科目	故障診断学エンジン I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1 単位	
授業回数	2 1 回	
授業概要	エンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1・2	分野別問題集① 総論
	3・4	分野別問題集② エンジン本体（1）・（2）
	5・6	分野別問題集③ エンジン本体（3）～（5）
	7・8	分野別問題集② エンジン本体（1）・（2）
	9・10	分野別問題集③ エンジン本体（3）・（4）
	11・12	分野別問題集⑥ エンジン本体（5）
	13・14	分野別問題集⑦ 電子制御装置（1）・（2）
	15・16	分野別問題集⑨ 燃料装置（1）・（2）
	17・18	分野別問題集⑩ 燃料装置（3）・（4）
	19・20	分野別問題集⑪ 吸排気装置
	21	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	29	
授業科目	故障診断学エンジンⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	21回	
授業概要	エンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1・2	分野別問題集① 総論 1, 2
	3・4	分野別問題集② エンジン本体 1, 2
	5・6	分野別問題集③ エンジン本体 3, 4
	7・8	分野別問題集④ 潤滑装置・冷却装置
	9・10	分野別問題集⑤ 燃料装置 1
	11・12	分野別問題集⑥ 燃料装置 2
	13・14	分野別問題集⑦ 燃料装置 3
	15・16	分野別問題集⑧ 燃料装置 4
	17・18	分野別問題集⑨ 吸排気装置
	19・20	まとめ
	21	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	30	
授業科目	故障診断学シャシA I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	21回	
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1・2	分野別問題1 動力伝達装置 1 クラッチ トルクコンバータ
	3・4	分野別問題2 動力伝達装置 2 速度比・トルク比・伝達効率
	5・6	分野別問題3 動力伝達装置 3 自動変速線図A/T安全装置・点検CVT
	7・8	分野別問題4 動力伝達装置 4 デファレンシャル LSD インタアクスル
	9・10	分野別問題5 サスペンション1 ばね特性・ボディーの揺動
	11・12	分野別問題6 サスペンション2 アクスル及びサスペンション
	13・14	分野別問題7 サスペンション3 サスペンションの異音
	15・16	分野別問題8 サスペンション4 エア・サスペンション②
	17・18	まとめ
	19・20	まとめ
	21	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	31	
授業科目	故障診断学シヤシAⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	21回	
授業概要	シヤシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シヤシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1・2	問題演習①
	3・4	問題演習① 復習
	5・6	問題演習②
	7・8	問題演習② 復習
	9・10	問題演習③
	11・12	問題演習③ 復習
	13・14	問題演習④
	15・16	問題演習④ 復習
	17・18	問題演習⑤
	19・20	問題演習⑤ 復習
	21	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	32		
授業科目	故障診断学シャシB I		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1単位		
授業回数	21回		
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する		
教科書	実践問題集		
特記			
授業計画	1・2	分野別問題1 ステアリング①	
	3・4	分野別問題2 ステアリング②	
	5・6	分野別問題3 ホイールタイヤ	
	7・8	分野別問題4 アライメント	
	9・10	分野別問題5 ブレーキ① ABS	
	11・12	分野別問題6 ブレーキ② ABS	
	13・14	分野別問題7 TCS	
	15・16	分野別問題8 フレームボディ	
	17・18	分野別問題9 2輪	
	19・20	分野別問題10 まとめ	
	21	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	33	
授業科目	故障診断学シヤシBⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	21回	
授業概要	シヤシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シヤシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1・2	問題演習①
	3・4	問題演習① 復習
	5・6	問題演習②
	7・8	問題演習② 復習
	9・10	問題演習③
	11・12	問題演習③ 復習
	13・14	問題演習④
	15・16	問題演習④ 復習
	17・18	問題演習⑤
	19・20	問題演習⑤ 復習
	21	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	34	
授業科目	故障診断学電装品 I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1 単位	
授業回数	21 回	
授業概要	電気装置に関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電気装置に関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1・2	分野別問題① 基礎工学（電気回路）
	3・4	分野別問題② 電気装置 1（半導体、論理回路）
	5・6	分野別問題③ 電気装置 2（電気一般、計器）
	7・8	分野別問題④ 電気装置 3（バッテリー）
	9・10	分野別問題⑤ 電気装置 4（始動装置）
	11・12	分野別問題⑥ 電気装置 5（充電装置）
	13・14	分野別問題⑦ 電気装置 6（点火装置）
	15・16	分野別問題⑧ 電気装置 7（警報装置、冷房装置）
	17・18	分野別問題⑨ 電気装置 8（SRSエアバッグ、カーナビゲーション）
	19・20	分野別問題⑩ 電気装置 9（CAN通信、外部診断機）
	21	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	35	
授業科目	特殊機構・燃料・材料・油脂	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	21回	
授業概要	自動車の特殊装置、材料と燃料、油脂に関する内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1・2	可変バルブタイミング装置
	3・4	可変バルブリフト装置
	5・6	吸排気装置 過給機
	7・8	ロータリエンジン
	9・10	LPG・CNG
	11・12	まとめ
	13・14	材料① 自動車材料
	15・16	材料② 自動車の機械要素
	17・18	燃料・油脂 燃料及び潤滑剤
	19・20	燃料・油脂まとめ
	21	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	36		
授業科目	自動車法規・検査		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	1単位		
授業回数	31回		
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習		
達成目標	自動車に関する法律を理解する		
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会		
特記			
授業計画	1・2	自動車の構造	
	3・4	自動車の装置（原動機・シャシ）原動機～電気装置	
	5・6	自動車の装置（原動機・シャシ）緩衝装置～突入防止装置	
	7・8	自動車の装置（公害防止関係）騒音防止装置	
	9・10	自動車の装置（灯火関係）走行用前照灯～番号灯	
	11・12	自動車の装置（灯火関係）尾灯～その他の灯火	
	13・14	自動車の装置（運転操作）～緊急自動車等	
	15・16	概要 道路運送車両法、自動車種類	
	17・18	登録制度、保安基準	
	19・20	点検整備制度① 点検整備の義務、別表第4	
	21・22	点検整備制度② 点検整備記録簿～	
	23・24	検査制度① 自動車の検査～	
	25・26	検査制度② 自動車検査証の有効期間	
	27・28	認証制度・指定制度	
	29・30	まとめ	
	31	定例試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	37	
授業科目	応用自動車整備作業実習 A I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	2輪整備とトランスミッションについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	2輪車とトランスミッションの構造を理解し、整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	2輪整備① 概要
	7～12	2輪整備② 車体①
	13～18	2輪整備③ 車体②
	19～24	2輪整備④ エンジン①
	25～30	2輪整備⑤ エンジン②
	31～36	2輪まとめ
	37～42	AT① 概要
	43～48	AT② 取り外し
	49～54	AT③ 組み付け
	55～60	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	38	
授業科目	応用自動車整備作業実習 A II	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	自動車の電気装置について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	デジタルテスタを使用した電気装置の測定と故障診断技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	デジタルテスタ作成
	7～12	デジタルテスタ測定
	13～18	デジタル回路①
	19～24	デジタル回路②
	25～30	車体制御装置① ABS
	31～36	車体制御装置② TCS
	37～42	車体制御装置③ 横滑り
	43～48	CAN通信①
	49～54	CAN通信②
	55～60	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	39		
授業科目	応用自動車整備作業実習B I		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
単位数	2単位		
授業回数	60回		
授業概要	自動車の電子制御を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習		
達成目標	オシロスコープを用いた測定と故障診断技術を身に付ける		
教科書	配布プリント・資料		
特記			
授業計画	1～6	電子制御装置① センサ測定	
	7～12	電子制御装置② アクチュエータ測定	
	13～18	電子制御装置③ 故障診断①	
	19～24	電子制御装置④ 故障診断②	
	25～30	電子制御装置⑤ 故障診断③	
	31～36	電子制御装置⑥ まとめ	
	37～42	車両診断器を活用した故障診断①	
	43～48	車両診断器を活用した故障診断②	
	49～54	車両診断器を活用した故障診断③	
	55～60	まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	40	
授業科目	応用自動車整備作業実習BⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	動力について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	動力源の仕組みを理解し整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	ジーゼルエンジン① 概要
	7～12	ジーゼルエンジン② 点検整備①
	13～18	ジーゼルエンジン③ 点検整備②
	19～24	ジーゼルエンジン④ 点検整備③
	25～30	ジーゼルエンジン⑤ 点検整備④
	31～36	電気自動車等の整備①
	37～42	電気自動車等の整備②
	43～48	電気自動車等の整備③
	49～54	まとめ①
	55～60	まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	41		
授業科目	応用自動車整備作業実習BⅢ		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
単位数	2単位		
授業回数	60回		
授業概要	エンジン、トランスミッションの脱着作業、エアコンについて学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習		
達成目標	部品脱着作業、エアコンの整備技術を身に付ける		
教科書	配布プリント・資料		
特記			
授業計画	1～6	車両からのエンジン脱着 概要	
	7～12	車両からのエンジン取り外し①	
	13～18	車両からのエンジン取り外し②	
	19～24	車両にエンジン搭載①	
	25～30	車両にエンジン搭載②	
	31～36	冷却水補充・エンジン始動	
	37～42	エア・コンデンショナの取り外し	
	43～48	エア・コンデンショナの構造確認	
	49～54	エア・コンデンショナの取り付け	
	55～60	まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	42	
授業科目	自動車検査実習	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽 実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	自動車の法令点検を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検整備と自動車検査技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	12カ月点検 復習
	7～12	24カ月点検① 概要・室内
	13～18	24カ月点検② エンジンルーム・足回り・下回り
	19～24	24カ月点検③ 制動装置・舵取り装置
	25～30	24カ月点検④ 公害発散防止装置・記録簿
	31～36	エーミング
	37～42	自動車検査① サイドスリップ・スピード・ブレーキ
	43～48	自動車検査② ヘッドライト・排気ガス
	49～54	自動車検査③ 外観検査・保安基準
	55～60	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	43	
授業科目	総合自動車整備実習	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴、木村 耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	64回	
授業概要	自動車整備士の総合的な技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	総合的な自動車整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	概要
	7～12	測定技術 エンジン整備技術
	13～18	接客応対
	19～24	故障診断技術①
	25～30	故障診断技術②
	31～36	故障診断技術③
	37～42	法令点検技術① エンジンルーム関係
	43～48	法令点検技術② シヤシ関係①
	49～54	法令点検技術③ シヤシ関係②
	55～64	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	44	
授業科目	自動車キャリアデザイン I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	20回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1・2	就職の心構え
	3・4	自己PR・自己分析
	5・6	面接試験項目①
	7・8	面接試験項目②
	9・10	説明会・選考試験①
	11・12	説明会・選考試験②
	13・14	履歴書作成①
	15・16	履歴書作成②
	17・18	履歴書作成③
	19・20	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	45	
授業科目	自動車総合演習	
実務家教員授業	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	60回	
授業概要	二級自動車整備士国家試験問題の演習	
授業の進め方	演習と解説、振り返り学習	
達成目標	国家試験に合格するための知識を身に着ける	
教科書	練習問題	
特記		
授業計画	1～6	国家試験対策①
	7～12	国家試験対策②
	13～18	国家試験対策③
	19～24	国家試験対策④
	25～30	国家試験対策⑤
	31～36	国家試験対策⑥
	37～42	国家試験対策⑦
	43～48	国家試験対策⑧
	49～54	国家試験対策⑨
	55～60	国家試験対策⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	46	
授業科目	自動車キャリアデザインⅡ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	20回	
授業概要	ビジネスマナーについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	基本的なビジネスマナーを身に付ける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1・2	学校と職場の違い
	3・4	職場のマナー
	5・6	仕事の進め方
	7・8	報告 連絡 相談
	9・10	挨拶 笑顔 お辞儀①
	11・12	挨拶 笑顔 お辞儀②
	13・14	敬語①
	15・16	敬語②
	17・18	総合演習
	19・20	まとめ
	成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	47	
授業科目	自動車キャリアデザインⅢ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	20回	
授業概要	企業連携研修	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	実務に近い作業が出来るようになる	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1・2	企業連携研修①
	3・4	企業連携研修②
	5・6	企業連携研修③
	7・8	企業連携研修④
	9・10	企業連携研修⑤
	11・12	企業連携研修⑥
	13・14	企業連携研修⑦
	15・16	企業連携研修⑧
	17・18	企業連携研修⑨
	19・20	企業連携研修⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

